

共通戦略2	新たな可能性を切り拓く多様な連携の推進
-------	---------------------

施策3	事業者間連携による販売促進支援の強化
-----	--------------------

1 令和5年度 施策の方向性	
事業者にとって、限られた資源を有効活用し、相乗効果を高める連携は付加価値向上に取り組む有効な手段となる。そのため、産業間、商工会間、事業者間などの従来の枠組を超えた新たな連携を強力に推進し、事業者間の実情に応じた連携機会の創出を支援する。	

2 事業概要	
※ () は活動目標値	
(1) 事業者間連携促進事業 事業者の強みを融合させた相乗効果による付加価値を生み出すため、事業者間連携事業を推進し、連携による新たなビジネスチャンスの創出を支援した。	
■活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業再構築補助金を活用した農商工等連携事業支援 ・秋田県佃煮組合の委託業務を通じた事業者間連携事業支援 ・商工会報及び商工会ホームページ等を通じた連携事業の周知 ▽県連合会作成「事業者間連携」推進チラシの配布 (全商工会員) ▽商工会ホームページ「お知らせ」への「事業者間連携」推進チラシ情報の掲示 ▽商工会報1月号「経営お役立ち情報」での情報掲載及び潟上市内事業者の取組事例紹介 ・菓子製造小売業と佃煮製造小売業の連携 (株)ジェー・ユー (パティスリーパルテール) ×(有)佐藤徳太郎商店)
■達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・農商工等連携事業計画策定件数 : 1件 (1件) ・連携事業情報の周知 : 3回 (3回) ・事業者間連携事業計画書策定件数 : 1件 (1件) ・事業者間連携実施事業数 : 3回 (1回)
(2) 観光拠点連携強化事業 秋田駅前の集客拠点にて潟上・男鹿・湖東エリアの事業者が連携したエリア一体型集客事業を実施することで販売促進を強化し、消費者の関心及び購買意欲の喚起により地域外からの資金獲得を支援した(7月の大雨災害からの復興祈願も合わせて実施)。	
■活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市行政及び市行政管理施設(かたりあん)での開催に係る情報収集 ・秋田駅前集客拠点(秋田駅前大屋根通り)での開催に係る情報収集、開催打合せ ・県地域振興局による後援に伴う物品提供等に係る開催打合せ ・物産等販売イベント出店事業者と商品取り扱い等の打合せ ・展示商談会出展事業者へ、伴走型支援事業等を活用した専門家派遣による開催前後の販路拡大、需要拡大指導
■達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・潟上市商工会認証特産品販売会 : 1回 (1回) ・観光拠点主体の販売会への参画事業者数 : 8社 (5社) ▽令和5年10月28日(土)秋田駅前大屋根通り 「潟上・男鹿・湖東 3商工会合同イベント地元のイチ推し! 秋空特産品マルシェ」 来場者数 : 約1,100人、出店者売上 : 約30万円 ・事業者間交流機会の提供 : 1回 (1回) ▽展示商談会「第34回グルメ&ダイニングスタイルショー秋2023」にて情報交換会開催

3 施策目標及び達成状況					
施策目標	実績値 (目標値)				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(1) 事業者間による連携事業実施数 <small>事業者間の連携事業実現数 ※イベント等の共同開催は除外する。</small>	4回 (1回)	3回 (1回)	(1回)	(1回)	(1回)
達成状況	達成	達成			
(2) 観光拠点主体の販売会への参画事業者数 <small>観光拠点を主体とした販売会に参画した事業者数</small>	7社 (5社)	8社 (5社)	(10社)	(10社)	(15社)
達成状況	達成	達成			

4 施策目標に関する検証	
(1) 事業者間による連携事業実施数	
≪効果があった事業及びその内容≫	何が良かったのか ・事業者間連携促進事業 会報やホームページを活用して、事業者間連携に関する情報を発信できたこと。
≪検討の余地がある事業及びその内容≫	何が悪かったのか ・事業者間連携促進事業 計画書策定を行ったが、開催時期や資金繰りの見直しにより計画の実現に至らなかったこと。
(2) 観光拠点主体の販売会への参画事業者数	
≪効果があった事業及びその内容≫	何が良かったのか ・観光拠点連携強化事業 出店募集範囲を当会会員だけでなく近隣商工会会員に広げたことで、多種多様な業種の事業者に出店していただくことができたこと。 出店場所を潟上市内に留めず秋田駅前としたことで、1,100人ものお客様に会場いただけましたこと。
≪検討の余地がある事業及びその内容≫	何が悪かったのか ・観光拠点連携強化事業 開催日と重なって行われた学校行事等に参加する事業者がいたことから、見込んだ出店数(20社)に達しなかったこと。

5 次年度への改善点	
(1) 事業者間連携促進事業 アンテナを広げ、事業者による連携事業情報収集に努めるとともに、商工会が仲介役となって事業を通じた連携機会の創出の促進を図る。	
(2) 観光拠点連携強化事業 販売会の開催方法を見直し、事業者の販路開拓と消費者の購買意欲喚起の相乗効果を狙う。商談会だけでなく、事業を通じた異業種交流機会を創出し、連携事業促進につなげる。	